

17歳・池が栄冠

スケートボード

日本選手権

2020年東京五輪の新種目として実施されるスケートボードの日本選手権は13日、東京都足立区のムラサキパーク東京でストリート競技があり、男子は予選トップの池慧野巨(いけ・けやき、17)が初優勝した。女子は伊佐風椰(いさ・かや、16)が予選5位から逆転優勝。大会は8月からインドネシアで開かれるアジア大会の代表選考会を兼ね、2人は派遣

直前にエントリー

昨年国内プロツアー総合4位の17歳が栄冠を獲得した。ほかの選手がミスをする中、池が競技歴10年の熟練者らしく、完成度の高い空中技を次々と決めて得点を稼いだ。「本当はこの大会、出るつもりがなかったんです。家が大阪でめんどい

2020東京五輪まであと802日

空中技次々決めた!!



男子で初優勝した池慧野巨＝ムラサキパーク東京で

▼スケートボード 東京五輪で新たに加わり、「パーク」「ストリート」の2種類が実施される。パークは湾曲した面を複雑に組み合わせたコース、ストリートは街中に存在するような階段や縁石、手すりなどを模したコースを決められた時間内に滑る。採点競技で、パークはエアトリックと呼ばれる飛び技の高さやスピートなどを、ストリートは技やボードコントロールなどを総合的に評価する。

「自宅の庭に練習場をつくるほど熱心に競技を応援してくれた父の指示で、締め切り直前にエントリーした。アジア大会代表選考を兼ねる今大会は、4位以内に入れば日本代表になる。アジア大会の強化指定選手となれる。『それを取ってこい、と言われて。でも普通に強い選

「1」数年世界各大会

「ここ数年は世界各地を転戦し結果を残しつつある。『東京五輪は出られるなら出たいし、出るってなったら上位を目指して頑張ります』と誓った。(平野梓)

▼池慧野巨(いけ・けやき) 2001(平成13)年4月29日生まれ、和歌山県田辺市出身の17歳。170センチ、53キログラム。小学1年でスケートボードを始め、小学5年時にAJSA全日本アマチュア選手権4位。昨年、JFSジャパン・オープン・ナショナル・チャンピオンシップで優勝した。現在は大阪府在住で通信制の第一学院高校2年生。(左足が前)。